

投資事業評価調書（新規）

部課室名	港 湾 課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	港湾課長 大瓦 巖 (海岸・防災係長 門野 清貴)	内線	4440 (4452)
------	-------	---------------------	------------------------------	----	----------------

事業種目	海岸	事業名	事業区間	総事業費	2.3 億円
		地域活力基盤創造交付金事業 五色浜海岸	慶野五色海岸	内用地補償費	- 億円

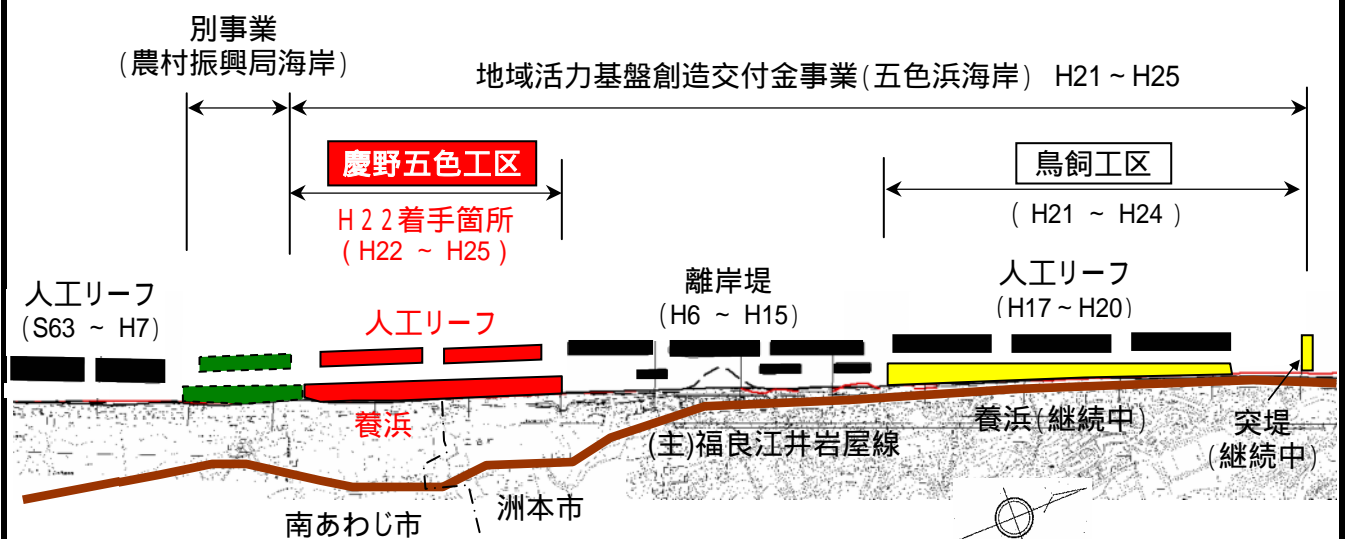
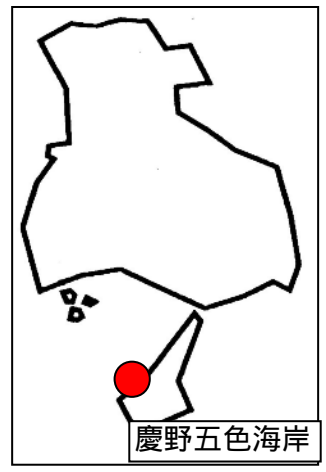
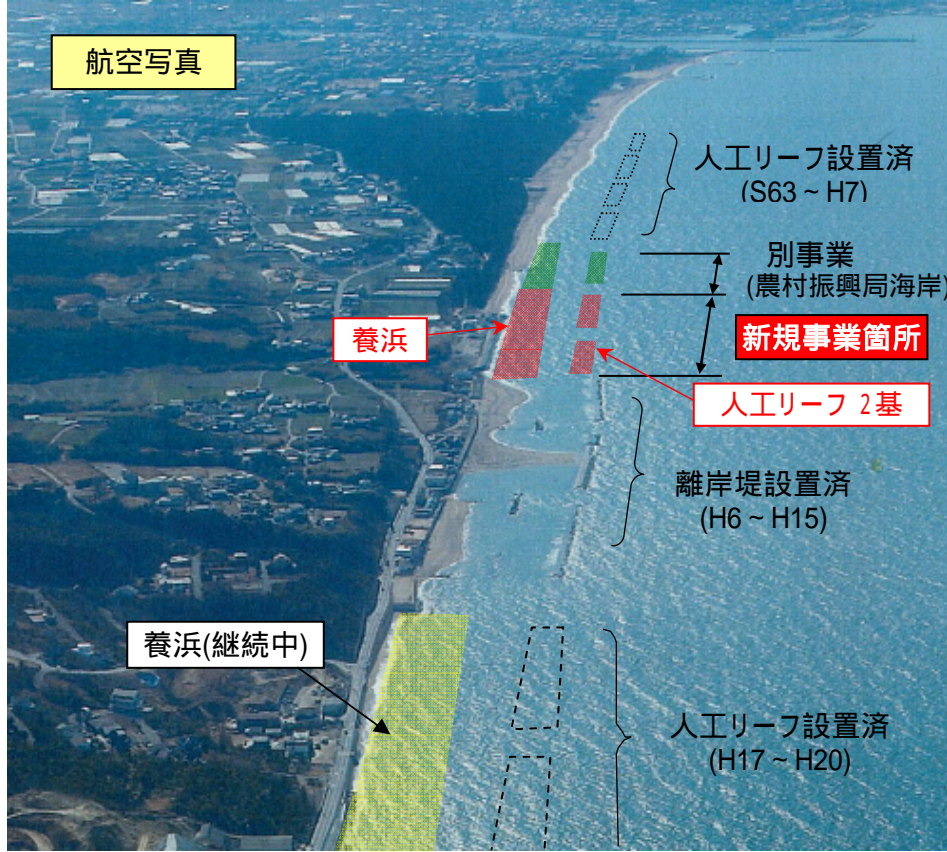
所在地			着手予定 年 度	完成予定 年 度
洲本市五色町鳥飼浦 ~ 南あわじ市松帆慶野			H22	H25

事業目的	事業内容
<ul style="list-style-type: none"> 慶野五色海岸は、瀬戸内海国立公園内に位置する海岸で、背後には「日本の白砂青松百選」にも選ばれた「慶野松原」が存在し、多くの県民が利用する海岸である。 近年、本海岸では主に冬季風浪により海岸線が著しく後退し、松原が消失の危機に立たされているとともに、背後の人家への越波被害が多発し、人々の生活を脅かしている。 このため、侵食対策を図るとともに、瀬戸内海国立公園に位置する当海岸の景観や利用にも配慮した整備とするため、沖合に人工リーフを設置し、養浜を実施する。 	人工リーフ 2基 養浜 L=500m V=15,000m ³

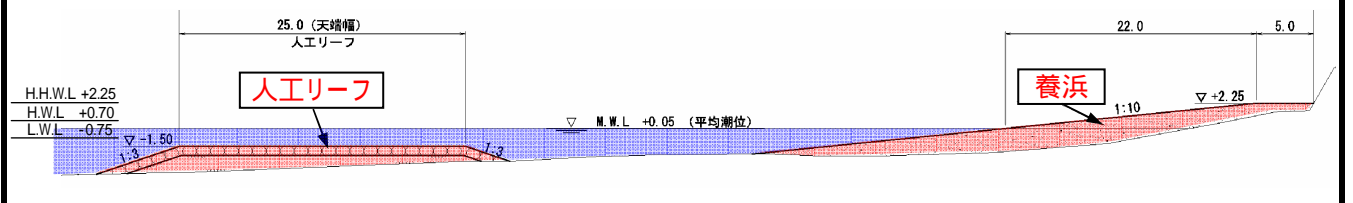
評価視点	評価結果の説明
(1)必要性 安全・安心 [海岸侵食の抑止] [越波被害の防止]	<ul style="list-style-type: none"> 防風林の機能を有する松林を保全するため、早急に風浪による海岸の侵食を抑止する必要がある。 背後に人家が存在する地区では冬季風浪による越波被害が多発しているため、人家を保護するために越波を防止する必要がある。
(2)有効性・効率性 有効性 効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用便益比 B/C = 1.22 隣接する海岸で侵食対策として人工リーフ等が設置され、実績として砂浜の安定が確認されているため、当海岸においても同様の効果が期待される。 人工リーフおよび養浜による対策工は、海岸侵食からの防護に加えて、海浜の利用や、景観にも配慮した工法であり、防護・利用・環境のそれぞれの機能を効率的に発揮することができる工法である。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 沖合において、天端が水面下に没する人工リーフを設置することで、風光明媚な海岸の景観に影響を与えることなく越波の軽減や海浜の安定を図ることができる。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> 本海岸の背後は、「慶野松原」の中でも最も松林の幅が狭い地区であり、背後の人家に度々越波被害が生じていることから、早急に事業を実施する必要がある。 地域の要望も強く、地元の協力体制も整っていることから、早期の事業着手が望まれている。

概要図(新規評価)

事業名	地域活力基盤創造交付金事業	海岸名	慶野五色海岸
-----	---------------	-----	--------

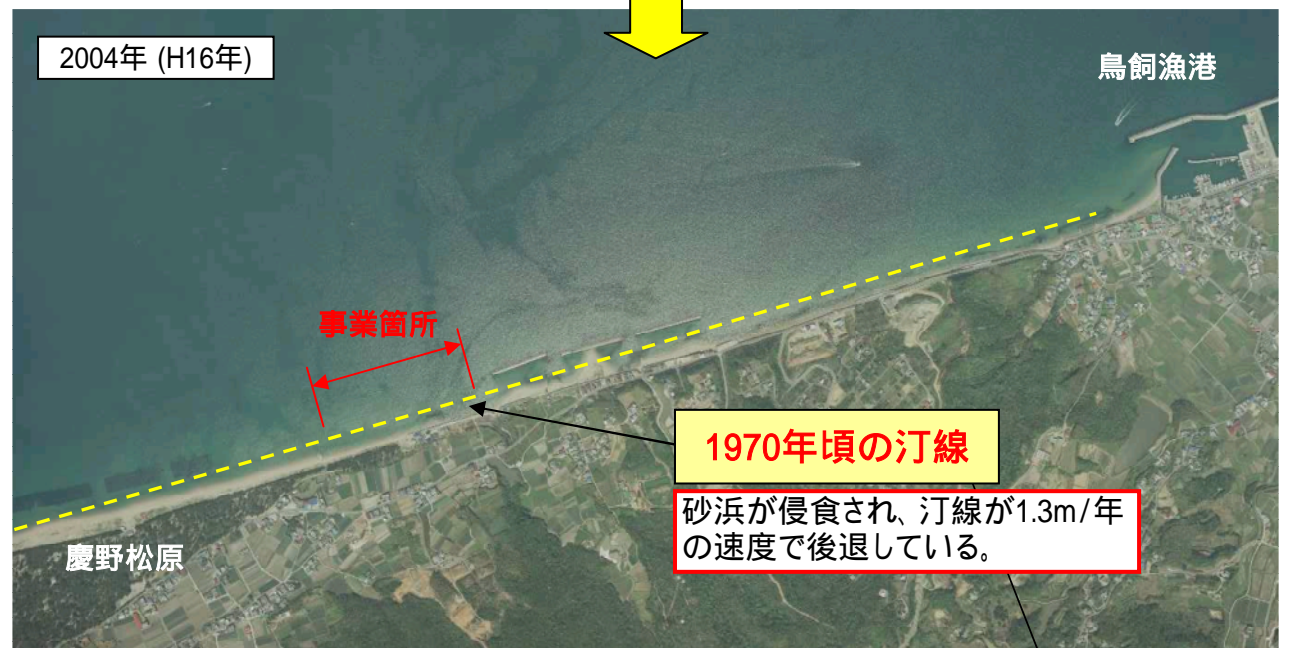


平面図

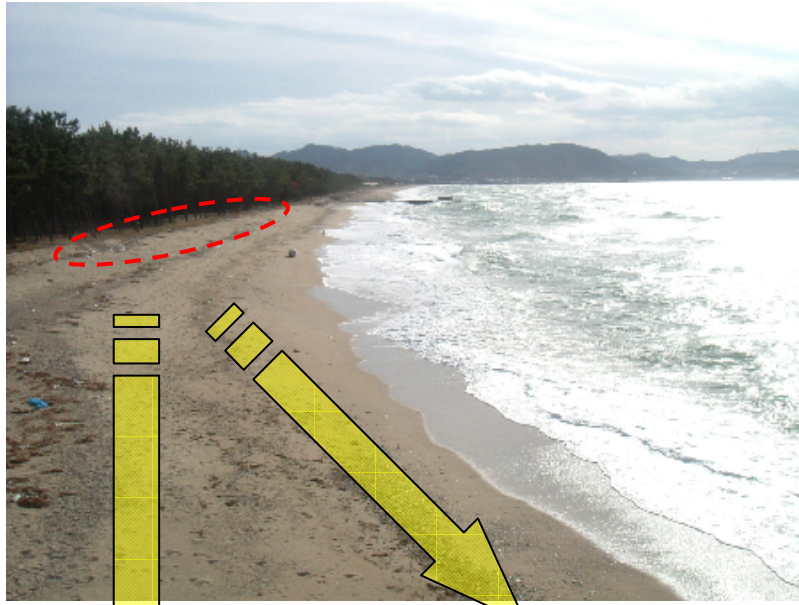


標準断面図

侵食状況写真



現況写真



無対策箇所では、松林の直近まで侵食が進行している。



南あわじ市が応急対策として、ふとん籠を設置している。



背後に人家が近接する箇所では、冬季風浪等による越波被害が生じている。



工程表

	H22	H23	H24	H25	備考
調査・設計	■				
人工リーフ		■			2基
養浜				■	V=15,000m ³

B/C

便益(B)の項目

事業	便益(B)	算出方法
海岸	(侵食防護便益) 想定される侵食地域内の土地の消失、一般資産の被害の軽減による便益	侵食地域内の土地価格及び家屋等の価値の合計値。 隣接する慶野海岸(農村振興局所管)と一体的に整備するものとして算出。

費用便益比(B/C)算出根拠

事業	事業名	便益(B)			費用(C)			B/C
		侵食防護便益 (百万円)	残存価値 (百万円)	合計 (百万円)	総費用 (百万円)	事業費 (百万円)	維持管理費 (百万円)	
海岸	慶野五色海岸	384	39	424	347	313	34	1.22